

日野町はこんなところ

【位置】

日野町は、滋賀県の東南部、鈴鹿山系の西麓に位置し、北は東近江市、南は甲賀市と接しており、50km圏内には、京都市、四日市市、大垣市などがあり、100km圏内には、大阪市、名古屋市、敦賀市、伊勢市などがあります。

町の総面積は117.6km²で、滋賀県全体の約3%を占め、東西14.5km、南北12.3kmの広がりがあります。

交通は、南北に国道307号、東西に国道477号が横断しています。これらの主要道路から、名神高速道路の八日市ICや蒲生スマートIC、新名神高速道路の甲賀土山ICにアクセスでき、京阪神、中京圏へ1時間程度で行くことができます。また、公共交通機関については、近江鉄道と近江鉄道バスによりJR近江八幡駅などにアクセスできます。



電車・バスで

- ▶ JR近江八幡駅から近江バスで約40分
- ▶ JR米原駅から近江鉄道で約90分
- ▶ JR貴生川駅から近江鉄道で約20分

お車で

- 名神高速道路**
- ▶ 竜王ICから約25分
- ▶ 蒲生スマートICから約20分
- ▶ 八日市ICから約20分
- 新名神高速道路**
- ▶ 信楽ICから約35分
- ▶ 甲賀土山ICから約20分

【人口等】

平成29年4月1日現在（住民基本台帳）で、人口は21,757人（男：10,751人、女：11,006人）、世帯数は7,972世帯となっています。

【自然環境】

日野町の気候は、温暖な瀬戸内式気候に属していますが、内陸に位置するため、平均気温は14.5℃で、琵琶湖沿岸部に比べるとやや低くなっています。また、年間降水量は1,300～1,600mmで、冬には降雪が見られます。

地形は、丘陵、山地が多く、東にそびえる鈴鹿の霊峰・綿向山を水源とする日野川、竜王山を水源とする佐久良川が流れ、その流域に沿って集落や農地が広がっています。海拔は中央部で190m、最も高いところは綿向山山頂の1,110mで、町の東に連なる鈴鹿の山々は鈴鹿国定公園に指定され、天然記念物「鎌掛谷ホンシャクナゲ群落」をはじめ、四季折々の自然に恵まれています。

※滋賀県下には13の天然記念物あり、そのうち日野町には「鎌掛谷ホンシャクナゲ群落」「熊野のヒダリマキガヤ」「綿向山麓の接触変質地帯」「鎌掛の屏風岩」「別所高師小僧」の5つ国指定の天然記念物があります。また、鈴鹿山系には国指定の特別天然記念物の「ニホンカモシカ」も生息しています。



鎌掛谷ホンシャクナゲ群落

【歴史・伝統】

日野町の歴史は古く、旧石器時代の終わりから縄文時代の始め頃は狩猟や採集生活を、弥生時代には稲作も始められていた記録があり、飛鳥時代には百済の文化が持ち込まれました。

やがて室町時代、蒲生氏の城下町となって大きく変貌を遂げ、歴史の表舞台に登場してきました。町の繁栄の基礎を築いた蒲生氏は400年以上この地を治め、商工業の保護・育成に努力し、鉄砲や鞍などを特産品として生み出しました。その蒲生一族の中で、今も日野の人々の心に生きているのが蒲生氏郷公です。織田信長の娘冬姫を妻とし、その後豊臣秀吉に従った氏郷は産業政策においても秀でており、日野に楽市楽座を開き、その後松坂12万石、会津92万石の藩主となりました。蒲生公が築き上げた城下町の町並みは現在もその面影を残しています。



蒲生氏郷公像

江戸時代に入ると、漆器や薬売りの行商から栄えた日野の商人は、有名な「近江商人」の基礎を確立しました。日野町はその本家の町として繁栄し、主に北関東に商圏を伸ばしながら「近江日野商人」の名を全国にとどろかせました。近江日野商人の「売り手よし・買い手よし・世間よし」の「三方よし」の精神は、今も町の気風としてしっかりと根づき、日野祭りをはじめとする伝統的な祭ともあいまって独特の生活文化を生み、日野町の大いなる発展の礎を不えてきました。

明治22年には町制を敷き、昭和30年3月に1町6村が合併して、現在の行政区となっています。



200年前の日野椀



当時の帳場を再現（近江日野商人館）



古い町並み（南大窪町）

近江日野商人館 【旧山中兵右衛門】

昭和56年に近江日野商人・山中兵右衛門氏より町に寄贈された由緒ある建物（昭和14年建造）で、厳格で慎み深い近江日野商人の精神がよく表れています。様々に粋を凝らされた建築資材・建築様式が見られるとともに、行商品や家訓、貴重な石薬、日本最古級のワイン（レプリカ）などの展示から、近江日野商人の歴史や商いについて知ることができます。



日野まちかど感応館 【旧正野玄三薬店】

江戸時代、日野椀に代わり行商品となる合薬を創製した正野玄三氏の旧薬店です。かつて店の前には薬草園が広がっていたといえます。館内と復元された旧包装場では、薬業の資料展示を行うほか、観光案内や特産品の販売、土蔵を改装した喫茶スペースなどもあり、まちなか散策の休憩所として活躍しています。



近江日野商人ふるさと館 【旧山中正吉邸】

山中兵右衛門氏の分家として江戸時代後期に建てられ、明治から昭和初期にかけて改修されました。板塀には日野祭を見物するための棧敷窓、石燈籠が配された美しい庭、装飾的な建具などから、近江日野商人の本宅で繁栄ぶりを見て肌で感じることができます。
※日野の歴史や文化に関する資料を保存・活用し、それらを生かした体験や交流、情報発信を行います



【伝統行事・イベント】

・日野ひなまつり紀行（2月上旬～3月上旬）

【日野町村井・大窪・西大路周辺】

城下町の風情を感じさせる日野の町並み。そんな街角や商家、日野独特の風景である棧敷窓ごしなどに江戸時代から現代に至るまでのお雛様や創作人形などが飾られます。



・南山王祭（4月4日）

【日野町大窪・日枝神社】

日枝神社、通称“南山王さん”の春祭。竹を細かく割りあげて竹ひごを作り、そこへ神の花を付け美しく飾られた日野地方特有の「ほいのぼり」が二十数本奉納されます。春のムードいっぱいのお祭です。



・日野祭（5月2日：宵祭・3日：本祭）

【馬見岡綿向神社他】

馬見岡綿向神社の春の例祭で、湖東地方最大のお祭です。5月3日の本祭では神子・神調社等の宮入よりはじまり、お昼頃には各町内より十数基の曳山が神社境内に勢ぞろいします。神輿3基も繰り出し、日野の町は祭一色となります。



・氏郷まつり「夏の陣」（8月上旬）

【日野町役場】

町内に住む者、町内企業に勤める者が一堂に会し、夏の風物詩である盆踊りを楽しむとともに、各種の手作りイベント（日野町商人杯争奪金魚すくい大会、懸賞付き盆踊り大会、ステージショー、花火大会等）を組み合わせ、親睦を図ります。



・火ふり祭（8月14日・15日）

【日野町上野田・ひばり野・五社神社】

お盆の夜空を彩る夏の風物詩。上野田の通称“ひばり野”で行われる祭です。百数十本の松明が松の木に投げ上げられ、松の木に松明が多たまればその年は豊作といわれる勇壮なお祭です。



・近江中山の芋競べ祭り（9月上旬）

【日野町中山・熊野神社・野神山】

平安時代から800年以上の伝統を持つ日野町中山東・中山西の野神を祀るお祭りです。祭りの最後に芋の長さが競べられます。昔から西が勝てば豊作、東が勝てば不作といわれています。



・秋の棧敷窓アート（10月中旬）

【日野町村井周辺】

江戸時代からの様式をとどめる昔ながらの町並みの中で、商家や蔵にて地元の工芸作家の楽しい工芸作品が展示・販売され、また日野町の歴史や伝統文化の紹介、音楽演奏などのイベントが行われます。



・氏郷まつり“楽市楽座”（10月下旬）

【日野町役場周辺】

特産・農林産物や工業製品をはじめ、蒲生氏郷公ゆかりの地である松阪市や会津若松市の特産品などの販売を中心とした日野楽市楽座。日野筒鉄砲隊の演武や武者行列なども開催されます。



・ふれあい綿向山Day（11月10日）

【綿向山】

標高1,110mにちなみ、日野町では平成8年に11月10日を「綿向山の日」に制定しました。毎年、ふれあい綿向山Day実行委員会が主催となり、登山者向けのイベントを実施しています。当日登頂された方には「綿向山の日」登山証明書が渡されるほか、頂上での展望説明や記念グッズ販売、コンサートなどのイベントが実施され多くの人で賑わいます。



【観光】

日野町の観光は、滋賀農業公園「ブルーメの丘」をはじめとして、コテージ&オートキャンプ場「グリム冒険の森」、花の郷「日野ダリア園」など、豊かな自然環境と数多くの文化財や歴史資産に恵まれ、観光客数は60万人前後となっています。



ブルーメの丘



グリム冒険の森



日野ダリア園

【特産物】

主な特産品には、日野町が原産地で漬物などでも有名な日野菜をはじめ、近江日野牛や丁稚ようかん、おかき・あられ、シカ缶詰・シカ肉ソーセージ、日野椀などがあります。



原産の日野菜



丁稚ようかん



日野あられ

【その他】

・近江日野田舎体験

「売り手よし買い手よし世間よし」の三方よしの精神に習い、「迎えるもの（売り手）に自信と誇りの回復を、地域（世間）に活力を、訪れる人々（買い手）に心からの感動を」の「三方よし」を目指し、豊かな自然や歴史、文化などのたからを活かした取り組みを進めています。

近江日野田舎体験では、農村民泊体験だけでなく、原産日野菜収穫や田植えなどの農林業体験、丁稚ようかんづくり体験などの味覚

・生活文化体験、まちなみ散策と近江日野商人に学ぶ歴史・文化体験などを実施しており、一般の旅行者や教育旅行、研修旅行などに活用され、年間の受け入れ件数は、3,000件を超えています。それぞれが日野ならではの魅力をもった体験として、訪れる人々に喜ばれています。



・空き家情報登録制度

空き家を有効に活用し、移住・定住していただくことにより、地域の活性化を図ることを目的として、「空き家情報登録制度」を平成21年5月に創設し、平成29年4月1日現在、43世帯（113人）が移住・定住されました。

・日野町婚活プロジェクト クラブキュピドン

独身男女の出会いを応援する場を増やしていくため、「日野町婚活プロジェクト クラブキュピドン」を運営し、出会いの場となる交流イベント（パン作り、いちご狩り、トレッキング、クリスマスパーティーなど）や自分磨きを行うセミナーなどを開催しています。

参加（会員）の条件は、会則を守る20から40歳代独身の男女で、男性のみ日野町在住または在勤の人に限りです。（結婚後日野町内に住む意志のある人含む。）

※ キュピドンとは、フランス語でキューピットを意味しています。

日野町のキャラクター



蒲生氏郷公顕彰会
公認キャラクター

がもにゃん

蒲生氏郷公をモチーフにした猫のキャラクター。

文武両道に秀でた剣士で、「英知の鈴」を持っており受験生の強い味方です。



天秤坊や

天秤棒を担いで全国各地に行商に行った、近江日野商人をモチーフにしたキャラクターです。



氏郷くん

日野町出身の戦国武将、蒲生氏郷公をモチーフにしたキャラクター。

トレードマークは「鯨尾型の兜」。